



衛藤 大輔

Eto Daisuke

平成24年度
採用



異動経歴

H24年採用 海匠農業事務所
H27年 山武農業事務所
H30年 農林水産部 耕地課
R2年 千葉農業事務所

Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

農業水利施設の老朽化や農家の方々の高齢化・減少が進んでいることを背景として、用排水機場の機能の保全、農地の区画拡大等による農業生産の基盤強化、農村の協働力・農村環境の維持などに関する仕事をしています。これらは、農家の方々の生活だけでなく、多くの人々に安定して食料を供給することにもつながっており、そのような仕事に携われることに魅力を感じています。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

主に農業用ため池の改修工事を行うための事業の計画作り等の業務をしています。千葉県には農業用水を確保するための農業用ため池があります。その多くは明治時代や大正時代に造られたことから、老朽化が進行しているものも少なくありません。ため池の改修を進めることによって決壊等を防ぎ、農地への用水の安定供給だけでなく、農村の生活が守られることにやりがいを感じています。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

千葉県は全国でも有数の農業県であり、地域ごとの多様な特色を生かした農業が展開されていることに魅力を感じたことから、千葉県を選びました。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

千葉農業事務所にはベテランから新人まで年代の幅広い職員が配属されており、進め方の分からない業務があれば、経験豊富な上司に相談しながら仕事を進めることができます。また、若手職員を対象に県庁や職場で研修が行われており、普段からコミュニケーションを取る機会も多いため、相談しやすい雰囲気であると思います。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

新規事業の計画を策定する際には、事業を要望している方々がどのようなことに困っているのか、求めているのかを理解した上で、それを実現するためにはどのような方法がふさわしいのかを提案できるように意識しています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

例えば、農業水利施設を造成した後は、その地域の管理組織の方々がその施設の管理を行うこととなります。工事の際に使い勝手がよくないものを造ってしまうと、思わぬ事故につながったり故障してしまうおそれがあります。そのため、将来的な管理体制を意識して、工事の設計や監督業務を行う必要があり、その点を難しく感じています。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

首都圏に位置しながら海や大地の豊かな自然に囲まれ、美味しい食べ物がたくさんあるところが魅力だと思います。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

休日は家族と外出することが多いです。最近は海ほたるや動物園に行きました。退庁後には子供を保育園に迎えに行ったり、余裕がある時にはスポーツジムで運動をしたりして過ごしています。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

農業生産基盤の整備を通じて、千葉県で農業をやると儲かる、安心して生活できると思ってもらえることが目標です。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

農業や農村に関するあらゆる知識が必要となりますが、仕事を通じて多くの経験をすることができます。皆さんも私たちと一緒に千葉県の農業を盛り上げましょう！

ある一日の流れをピックアップ

- 7:30 出勤・メールチェック
 - 8:30 課内打合せ
 - 9:00 地元打合せの内容整理
 - 10:00 出張
改修事業に関する地元との打合せ
 - 12:00 昼食
 - 13:00 打合せ記録作成
 - 14:00 設計業務に関する打合せ
 - 16:15 退庁
 - 17:00 子供を保育園にお迎え、帰宅
- ※時差出勤制度を活用

